杏林医学会雑誌 投稿規定

（平成16年4月1日改訂）

1. 本誌への投稿は本会会員に限る。
2. 本誌には医学、保健医学の領域に関する未発表の論文を掲載する。
3. 原則として同一号に1編（トップネーム）の投稿ができる。
4. 本誌には次の中を掲載する。
   a) 論説
   b) 原著
   c) 症例報告
   d) 術術
   e) 保健医学
   f) Images of Medicine
   g) 学会議案抄録
   h) 資料
   i) 本会記事
   j) その他
5. 患者、人体材料を用いた医学研究、および実験動物を用いた医学研究に関する論文について

A) センチを対象とする医学研究論文の場合

   ヒトを対象とする医学研究論文は、ヘルシンキ宣言（別掲）
   http://www.med.or.jp/wma/helsinki00_j.htmlhttp://www.wma.net/e/policy/17-c_e.html に示された倫理的原
   則に沿った当該研究機関の倫理委員会規定に応じて同様の規定に基づいて行われたものである事実を、本文中
   に記すこと。また、臨床試験に関する論文は、当該者に実験目的を明示してインフォームド・コンセントを得た
   ものである事実を記すること。遺伝子解析に関する論文については「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」
   http://www.mhlw.go.jp/houdou/0103/h0323-3.htmlに基づいて行われたものである事実を記すこと。
   明確に特定された人間集団の中で出現する健康に関する様々な事象の頻度及び分布並びにそれに影響を与える
   要因を明らかにする疫学研究においては「疫学研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）http://www.niph.go.jp/wada/ekigakurinri/index.htmに基づいて行われなければならない。

   医療における疾患の予防方法、診断方法及び治療方法の改善、疾病原因及び病態の理解並びに患者の生活等の質の
   向上を目的として実施される臨床研究論文の場合、「臨床研究に関する倫理指針」（厚生労働省）
   http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/07/t0703-2.htmlの指針に従って臨床研究を行わなければならない。

B) 実験動物を用いた医学研究論文の場合

   実験動物を用いた医学研究論文には、その実験の行われた施設名を記し、「動物実験に関する指針」（日本実験動物
   学会）（Guideline for Animal Experimentation, Japanese Association for Laboratory Animal Science, 1987）
   http://www.jlas.or.jp/HOU_SISIN/shishin.htmlなどの指針、あるいはこれと基本的に一致する当該施設にお
   ける動物実験指針に適合して行われたものであることを記すること。

6. 原稿の採否は編集委員会が決定し、掲載順は原則として受付順とする。
7. 原稿は必ず下記の「原稿の様式」に従うものとし、原稿・図・表共、3ヶ所提出すること。特に写真は3部共、仕上
   がりが同一品質のものでなければならない。写真は通常の複写機による複製は不可。ビクシントラロジーあるいはビク
   トロストラトによるものは可とするが、出来るだけ最高品質のものとすること。原稿は、ワープロあるいはパソコンを
   用いて作成し、原稿と同一内容のFD、MOまたはCD-R一部を添付する。ディスカのラベルに筆頭著者名・所属およ
   び、使用したOSとワープロ・ソフト名を明記するものとする。Images of Medicineの画像は、オリジナルと画像データー
   （フォットショップあるいはそれと同等の処理をなされたものを作成した）のMOまたはCD-Rを添付すること。又、
   ラベルについては前記の通りとする。
8. 1）掲載料として表上り超える1頁（5頁以上）につき3,000 円が（表数及体数により）実費負担となる。
   2) Images of Medicineは自黒、カラー印刷に関係なく掲載料は3,000 円とする。
   3) 委員会依頼の総説等は無料とする。
   4) 学位論文の要旨及び著者著者名の掲載料については、1件あたり 10,000 円とする。
   9. 1）超掲載料として本文届上り超える5頁以上は実費負担となる。（表単価及び図、表等点数により決定）
   2) カラー版代、及び2編以降を同図掲載希望の論文の掲載料と印刷経費はすべて実費負担とする。
10. 特別に掲載希望の論文については別途費用を負担するものとする。
11. 提出された原稿・図・表（FD、MO、CD-Rを含む）は原則として返却しない。
12. 別掲は30部まで杏林医学会負担とする。
13. 校正は著者が行い、指定期日に於って必ず返送する。校正の際には著者の改変や組替える事は許されない。
14. 1) 掲載論文等の著作権は、杏林医学会に帰属する。
   2) 杏林医学会は、当該論文等の全部または一部を、杏林医学会ホームページ、杏林医学会が認めたネットワーク媒体、
   その他基準において、任意の言語で、掲載、出版（電子出版を含む）できるものとする。この場合、必要に応じ
   て当該論文の抄録等を作成し付することがある。
15. 原稿届け先は、杏林医学会編集部宛（杏林大学 医学図書館内1F 内線 3314 e-mail: medsoc@lib.kyorin-u.ac.jp）。

原稿の様式
1. 原稿は原則としてワープロあるいはパソコンにより作成して下さい。本文の様式は、箇 A4判、横書き、20字×20行となる様文字間隔と行間隔を調整して下さい。英文の原稿はダブルスペースとし、英文フォント（Times 新罗马14 ポイント）、Courier（12 ポイント）を使用して下さい。また、原稿には頁を付与して下さい。手書き原稿の場合は、青黒のインクまたはボールペンで400字誌（文字間隔を20×20として）原稿用紙を使用して下さい。

2. 原稿は次の要領に従って提出して下さい。
   1) 原稿第1頁に著者の名・所属・英文キーワード（3件以内）・連絡著者名・e-mailアドレスを記入する。
   以下、要旨（250〜400字）・本文・文献（References）・図の説明英文（Legends to the Figures）・原図（Figure）（複写機等によるコピーは不可）・表（Table）・英文抄録（Abstract）の順序に従えて下さい。図表の内容も英文でお願いします。また手書き原稿の場合、原稿中の外国語は必ずタイプして下さい。
   2) Images of Medicine は原稿第1頁に標題・著者の名・所属・英文表題、英文著者名、英文キーワード（3件以内）・連絡先・e-mailアドレスを記入する。以下、本文（550字以内）・文献3件以内、キャッシュ（200字以内）・画像・英文抄録（Abstract）の順序に従えてください。

3. 本文は、原則として総言（Introduction）、方法（Methods）、結果（Results）、考察（Discussion）、結論（Conclusion）の順序として下さい。

4. 英文内容についてはネイティブスピーカーの校閲を受けることが望ましい。

英文抄録（Abstract）は白無地A4判用紙に以下を記載すること。
i) 英文標題 ii) 著者名（ハポネットローマ字） iii) 所属 iv) 抄録（要旨の英訳を抄録する）v) Keywords（第1項と同一のもの） vi) correspondence author と、そのe-mail address

5. 言語は、初回は正式名を用いた後に括弧に入れて書き、2回目以降からはそのまま使用してもよい。また、別紙に略語表をつけること。

6. 図および表の挿入箇所を本文原稿の右側の空白欄に鉛筆で記入して下さい。

7. 図、表は1個ずつ別紙に書き、A4判（29.7cm×21.0cm）の白紙に貼り付け、更に図の説明英文は、すべて別に添付するA4判白紙にまとめて各図に添付して下さい。なお、印刷にアート紙を使用する写真は1頁分を1枚にまとめて貼り付けてもよい。はがれる場合があるので写真の裏には必ず著者名・番号を記入してください。図・表の右下欄には鉛筆で図・表の番号をつけて下さい。また裏面にも著者名、図・表の番号、上下方向を鉛筆で記入して下さい。

8. 図の作製にあたっての注意事項
   A. A. 同じFigureの中の区分はFig 1A、1B、1C、・・・・のように大文字を用いること。
   (Fig. 1a、1b、1cは可、下位区分ならばa、bも可)
   B. 図やグラフの中の文字やシンボル（Ο、●、△、▲、□、■など）は、印刷の縮小に耐えるサイズにして下さい。
   C. 図の配置もそのまま版下がされるよう無駄なスペースがない配置に並べて台紙に貼り出して下さい。図の配置は2〜5cmの余白があるようにして下さい。

9. 度量衡の単位はm、cm、mm、μm、nm、A、l、ml、msec、sec、min、hr、kg、g、mg、ng、pm、mol、m/s、m/s^2、mmHg、Hz（～）、V、mV、A、mA、Ω、W等を用いる。

10. 引用文献は本文の最後にまとめて下記の方式で記載する。
   A）雑誌の場合は
   著者（全員）: 题名、雑誌名、巻：頁〜頁、発行年、なお、外国雑誌名は「List of Journals in Index Medicus」、国内雑誌名は「医学中央雑誌収載誌名」に掲載した略誌名とする。
   例 1) 小柏元英、竹内一夫：頭部外傷に対する抗てんかん薬服用中止に関する検討。脳と神 34: 577~584。1982。
   B）単行本の場合は
   著者名：書名、発行地、発行所名、発行年、頁〜頁。
   例 1) 伊藤忠志：医学生のための医用工学（ME入門）、東京、祥伝出版、1983. p.10~15。

NII-Electronic Library Service


雑誌発行予定: 1号 3月31日. 2号 6月30日. 3号 9月30日. 4号 12月31日
原稿締切日: 12月1日. 3月1日. 6月1日. 9月1日
1日が休日の場合は翌日